【第518号】　昭和27年（1952年）4月29日（火曜日）

磐城日日

新聞定價一カ月60円（休刊月曜）1円3部一

可認物郵便第三種

小名浜一小講堂で
郡内町村議員大會
六百名が參集

石城郡町村議會議員大会は去る二十七日午前十時三十分より小名浜町第二小学校講堂に石城郡下町村議員約五百五十名各町村長三十二名參集の上開催された当日は來賓として木村參議院議員小野義一、大井川正已兩縣会議員の臨席あり開会の辭についで鷲又治會長（植田）の挨拶あり議長の選任に移つた、議長には鷲会長が滿場一致で決定議事進行を計ることになり十時四十五分次の通り議案審議に入つた

㊀決議案（滿場一致で可決）

▽行政事務の再配分を斷行し地方自治の確立強化を期する

▽町村財政平衡交付金の增額とその適正配分を期する

▽町村起債の件の擴大を期する

▽義務教育施設の完備を期する

▽海外抑留者の引揚促進と戰爭犧牲者及び遺家族援護の徹底を期する

▽常磐線の電化促進を期する

次いで次の通り各町村の提出議案審議に移つた

一、縣内の水利權は地方産業振興のために利用せられる件（泉村提出）は滿場一致で可決

二、農村に小中工場誘致の件（泉村〃）については意義なく可決

三、小中学校教科書の統一化の件（泉村〃）決議

四、學童用教科書を國定又は地方ブロック制にすることをその筋に建議する件（錦町〃）については①新日本の發足を前にして國家建設の將來の大任を負う学童に教育の大系ある教科書を使用させたい②進學轉学に現今の教科書を使用すると二重の費用がかかる③國家大局より見て二百億円位無駄な教科書を出費しているといつた見地から討議され結局滿場異議なく可決した

五、國有林野整備臨時措置法の実施促進について（永戸箕輪村〃）決議

六、冠婚葬祭の簡素化について（上遠野村〃）決議

七、負擔金寄附に關して縣に協定を求める件（江名町〃）は縣の行う事業で町村の寄附金は現行縣の予算現額に縣側が一方的に定めたる負擔率を以つて寄附金を徴收して居るがこれに對して負担率は町村の受益を限度として事業種類別にこれを定め納入したる寄附金は事業の決算の際に清算する事など四つの具体的な基本事項について縣に対して強力なる行政協定を取行負擔寄附の制度に反ばく終始熱のある代表坂部正男議員の説明あり滿場拍手の中に可決された

八、港湾修築事業費町村負擔金減額要望の件（江名町〃）江名を代表して吉田勝彦議員の説明あり、前と同じく負擔金問題についてその減額を要望全議員これを認め決議された

九、小名浜港修築費負擔金免除の件（小名濱〃）野崎貞行議員の説明あり前途洋々たる小名浜港の修築に關し負担金免除について微細に亘つた説明で滿場拍手の中に可決した

十、小名浜町に工場誘致協力方懇請の件（小名濱町〃）は小名浜町を代表して小野寅平議員より次の通り説明あり滿場一致で決議された

躍進小名浜町は日本水素小名浜工場があり年産十万トンの硫安を製造している、その外專賣公社小名浜製鹽工場の誘致を見て現在建設中であるが七月操業開始の予定である年産六万トンの製造能力を有し前途洋々たる当地に倉敷レーヨン（ビニロン工場）を誘致することはこれに要する必要條件（敷地、石炭、電力、メタノール、給水、石灰石）からして原の町よりもはるかに條件が具備しており且つ港灣施設の点など詳細に亘り説明あり、この際強力なる猛運動を起して小名浜町、いや石城郡各市町村のために同工場の誘致協力方を叫び滿場拍手をもつて決議、誘致運動を起すことになつた

十一、町村事業に對する起債の枠大幅擴大の件（小名浜町〃）木村祐議員の町村事業（水道堺設建築）について起債の枠大幅擴大について力強い説明あり議決された、終つて十一時五十分休憩に入り午前の議案審議は全部決議された、午後〇時三十分引續き審議に移り

十二、縣事業に対する地元負擔金の徹廢を要望する件（植田町〃）は前に江名町坂部議員の詳細なる説明ありこの議案は説明省略された

十三、住宅金融公庫の金融枠の擴大を要望する件（植田町〃）決議

十四、平衡交付金を廢止してそれにかわる財源措置を講ぜられるよう要望の件（植田町〃）は平衡を欠く面が相當に多い様である、實に平衡となるようにするか又は制度の改廢を要望する説明あり可決された

十五、赤井嶽を中心とする方部の縣立公園指定要望の件（赤井村〃）可決

十六、地元産業發展政策として自動車運営機關を造り郡營又は市町村営として地方民に對する交通について比較的安價にし又輸便に乘車出來得るよう計画要望の件（山田村〃）可決

十七、義務教育費全額國庫負擔の件（山田村〃）可決

終つて破壞防止法案反対演説が一議員によつて發表されたが江名町坂部議員によつてかかる議案は一地方議会で討議されることは好ましからずとして異議を申立て全員賛成の内に否決された

最後に水野小名浜町長の祝辭、縣会議長代理小野義一氏の祝辭、福島縣町村會議員會長、相馬郡議員長、福島縣町村長會長の祝辭があり長瀬彰議副会長の閉會の辭があつて午後二時三十分盛會裡に幕を閉じた

所行發
社團新聞日日城磐
福島縣小名浜町字濱通51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人　長瀬芳郎

社告

来る三十日は天皇誕生日につき五月一日付の新聞は休刊させて戴きます

四月二十七日

磐城日日新聞社

社説

獨立を迎えて

今後の獨立國家としての日本はその体制を整えるためにこれから新しい制度を作つたり、あるひは舊制を改革したりしなく逆コースの右翼の進出を嚴重に抑制しなくてはならない

獨立は大きな喜びであるが、その喜びを結実させるものは國民の國家再建の熱意と努力である、相協力して一歩一歩國力の充実に專念することこそ獨立日本の行くべき路線であるとうした地道な努力によつてのみ國家の再建がなされ得ることを銘記したい

もやさしいことではないが、そういう激動のスキをねらつて右翼的な復古主義や、また逆に實情を無視した左翼的な色彩が力強い説明あり議決された、終つて十一時五十分休憩に入り午前の議案審議は全部決議された、午後〇時三十分引續き審議に移り

解決されるものでないばかりでなく獨立後さらに困難が加重されるかもしれない、それを吾々の責任と能力とによつて處理し解決することこそ吾々自分にある、而し吾々は自由世界の一員として民主的な中道を進む獨立國家であると思ふ

したからといつて直ちに

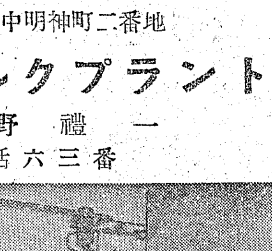
洋傘　洋品
高
タカノ洋品店
小名浜町
TEL338

所刷印瀬長
株式會社
社長　長瀬芳郎
同　一　員　所　外

會議町濱名小
議長　小名濱町長　長瀬彰一
副議長　同　上　員　喜一
外　同　義一

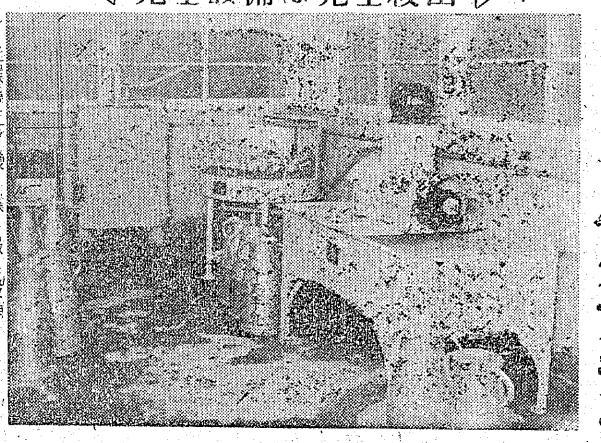
場役町浜名小
役場長　水野政次郎
助役　野瀬國昇
收入役　崎野長太郎
町長　小名浜町水野長三郎

講和條約
發効記念



良質ノ牛乳ハ
優秀ナ現代設備ヲ有スル
ミルクプラントヨリ

—◁菌殺全完は備設全完▷—

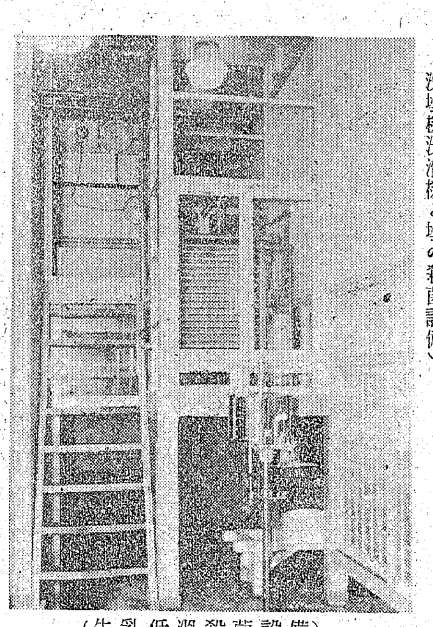


新緑と共に御家庭皆々樣の御要望に答へ今回衛生的にして完全なる設備を以ちビタミンを破壞せぬ低温殺菌の牛乳處理並に販賣を致す事に成りました

少量でも迅速に御届出來ますから御試飲御援助の程伏して御願い申し上げます

昭和二十七年四月

敬白



洗壜機洗滌機と壜の殺菌設備

（牛乳低温殺菌設備）

地番二町神明中町浜名小

小野ミルクプラント

小野禮一

電話六三番

（機菌殺温低と庫藏冷）

…（募急達配乳牛）…

第518号　昭和27年（1952）4月29日（火曜日）　日日新聞　昭和26年7月19日 運輸省特別承認扱第684號　昭和25年10月6日 第三種郵便物認可　日刊（除月曜）　【1】

平の講和記念行事
旗行列は三日

講和發効の二十八日を記念して平市では全市をあげて國旗を掲揚、祝場、祝賀式は五月三日の憲法発布記念日に公會堂本館で市内各官廳、團体を招き諸橋市長及び各市議が出席して挙行するほか市内各學校の學生を中心に旗行列を行う予定、尚平保健所でも講和記念行事の一つとして平市と歩調を合せて五月三、四、五の三日間同所で衛生展を開き保健業務の展示説明会を行ふ

植田で運轉者の講習會

植田方部運轉者講習会は二十四日午後六時より植田町公民館に会員一三〇名が參集し開催、免許證法規等についての説明があり終つて植田方部（植田、錦、山田、川部）の運轉士会を設立すべく議案を提出滿場一致で設立することになり設立委員として次の諸氏を推選した

小林清、小島義男、赤津翁人、佐川通、遠藤秀雄、今井高四郎、木田新一、蛭田俊雄、佐川四郎、安島登

植田漁協組の總會

植田町漁業協同組合（組合長渡邊新太郎氏）の第三回通常總會は来る三十日午後一時より植田町小浜愛宕神社拜殿に於いて開催、財産目録、貸借対照並に二十六年度事業報告、借入金限度決定、餘剰金預入先決定、繁殖計画等について協議をなし役員改選を行う

湯本消防團分團新設か

湯本町消防団では、この程消防委員會で新分團増設の件に関し審議した結果、大字高倉地内に一分團増設することになり近く町議会の議決を待つばかりとなつた新分團増設地内は同町大字高倉地内で戸數百十五戸人口六百名の處である

日本觀光營業所
植田駅前にて業務開始

日本觀光交通株式會社では今回植田町駅前に福島縣浜通り營業所を設置し旅行シーズンの團体募集をすると共に宣傳班を組織して縣下各地の名所を天然色フイルムに納めて紹介するなどの業務を開始したなお全營業所では全國各地の名所舊蹟や旅館、旅費等の案内圖を備付け旅行者に便宜をはかるもので所長は長瀬武雄氏である

勿來地内で婦人轢死

二十五日午前六時頃常磐線勿來駅と大津港間（勿來町關田地内）に年令四三才前後の婦人が轢死しているのを勿來町關田大平喜三郎さんが發見勿來警部派出所に連絡目下調べつた

交通安全辯論大會
新妻カズ子さん四位

縣警察連絡協議会主催の縣下交通安全学童辯論大会は二十七日午前十時から福島大學附屬小学校講堂に於て縣下四方部より選ばれた学童二五名が出場、舌戰を展開終始熱辯がかわされたが審査の結果、入賞者は次の通り一位＝朝朗な社會を…坂下中宍戸公美子、二位＝交通道徳と文化國家…芦澤中荒井富男、三位＝交通安全はどうして守れるか…白河中玉川眞知子、四位＝交通道徳の昂揚は私達の手で…小名濱一中新妻カズ子、五位＝交通安全について…高瀬中鹽野郁子さんらで小名浜地區管内では約八分に亘る雄辯を振つた、小名濱一中新妻カズ子さんが拔群美事四位を獲得した、なお浜通りから選出された豊間中粟屋俤吉、平二中檜山謙一、眞野中福島裕子の三さんは熱辯を振つたが惜しくも選外となつた

天氣予報 29

（本日）
はじめ南東の風稍強く曇りでにわか雨のある天氣ですが、後北西の風とかわりしだいに晴間も出ましょう

魚菜市況 28

【小名濱中央青果市場】
葉玉ねぎ七～一一うど三〇～一四〇人參二五～四〇みつば六、五〇～八ねぎ一六～二〇大根二七六〇にら六、五〇～一五ほうれん草三〇～六〇竹の子三〇～六〇馬鈴薯四〇～六〇たくあん四〇～八五
（小名浜魚市場）
きまつ四〇〇いなだ四二〇〇たか二八〇またと四〇〇さめさ七〇〇ひらめ八〇〇たら一三〇石たい三五〇すずき五七〇たこ一三五えび一四七〇なめた二〇〇ぎす九五くろこ三〇唐人三五

皆なで事故を防ごう
交通安全旬間

四月は花盛りといい、花見といい、落花の舞といい、いづれも櫻の花に限られている、汐干狩りや摘草など野外への行樂によき日はつづく、月末になると春という言葉そのものがしつくりして來てかすんだ空に溶けてゆくようなうらゝかさ、小川の水は温み、若草は萠え鮎はピチ〳〵として躍り夏の氣配の香りは人々をして陶醉せしめともすれば交通事故が殖えて來るときである、國警縣本部ではいよ〳〵指導取締の期間も経過したので二十一日から月末まで全國的に春季交通安全旬間が展開された、旬間も半ばを過ぎんとしているが一大運動として関係各機関の應援をもとめて対面交通と踏切に重点をおき交通事故を未然に防ぐ一大運動に乗出すことになつた交通取締りの對象を列擧すれば

車馬を操縦するものは左側通行、人は右側通行、飛び乘り、飛び降り、車体外乘車、車馬の無燈火車馬に乘つて操縦するもの、自動車のスピード、定員外の乘車は道路取締法並に同令で無免許運轉などいづれも重罰に處せられるから注意が肝要である

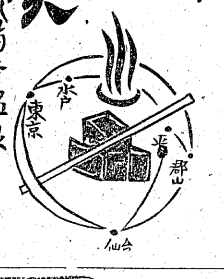
花時――若葉ともなれば都会の人々は郊外に、地方の人々は都会へと押寄せる、その仲間には馴れない人が多いため、たゞでさへ混雜を來す交通機關は、これらの人達によつて、てんやわんやの騒ぎとなつている、第一に目立つのが荷物の多いこと、その荷物を出入口に積み重ね、一組になつて、とぐろを捲いている、停車する毎に出入口は極度の混乱である、中に二、三の事情通の人がいるだろういま一段と氣をきかせそれをうまく先導したならばこの混雜はどれほど緩和されることだろうまた学童の春季遠足については乗物には充分注意を拂わなければならない最近茨城縣に起きた旅行中の学童十五名重輕傷のバス踏切事故や、バスのてんぷく事故ニュースは心臓を寒からしめる思いであつた、学童にとつては不慮の災害であるとうした事故を未然に防止し明るい住みよい交通安全を目標に踏切警手も運轉手も乘客も共々に手を携えて交通関係者にとくに乘客をして無事故にあるよう注意方を喚起して止まない

▼從業員急募▲

一、平營業所（運轉手數名、助手一名）
一、小名浜營業所（運轉手一名、車掌一名）
一、試驗期日＝五月一日　午前九時
一、場所＝平駅前本社
一、携帶品＝中食、筆記用具、免許證
⊙通勤可能な人で運轉者は五年以上の經驗を有する人

常磐交通自動車株式会社

何のすてさしこの一通北市湯の山のあふもかゆもと名物温泉みやげ
佐まき羊羹
磐城湯本温泉
小松屋



土地付賣家
場所　日本水素正門前
格安御相談に應ず
御希望のかたは本社迄御越し下さい

旅行！旅行には！
船酔汽車自動車酔の藥
ポカールF
此の藥には其の外に、胃痛、腹痛、頭痛の高藥が數種配合してありますからポカール一瓶で安心して旅行が出來ます
十二錠入　七十円
虫下しなら　マルヰ藥房
小名浜町西町
電一一五

工員募集
本社印刷部
希望者は御來社下さい

自動三輪車
ダイハツ號
小名浜町
宮下商會
モータース部
電話一九八番
四五九番

4月26日～30日
月末大奉仕
……毛織服地と春服地……
底値處分市
綿反、着尺底値處分市
合着メリヤス底値奉仕品毎日提供
少し違いで良い品運動開始
本年大黒屋が全力を集中して実施せんとする品質第一主義の実施
皆様の利益を護る店
大黒屋
小名濱支店
湯本支店
平支店
平本店

紳士服・婦人服
純毛服地と裏附属切賣
より良い　より安い　洋服を
純毛服地專門　大井洋服店
小名濱町本町

研究生募集!!
晝間部・夜間部
長瀬洋裁研究所
小名浜町本町

簡易な金融機関の御利用をおすすめ致します
融資
不二振興株式会社
小名浜町下神明町一
電話八

大衆食堂
味の天滿屋
うどん、やぶそば
鮮魚折詰仕出し
出前迅速
小名浜町中島（清水屋隣）
電話四一七番

経費をかけずに良い品安く
白生地大暴落
少しづつ高くなりそうです
最安値品がまだあります
今が御買徳の時です
ヤール　五〇円より
旅行にボストンと手提
六〇〇圓位より各種
化粧品
ジユジユクリーム八五円
柳屋ポマード　八五円
學童用洋傘　大人洋傘
三馬長靴大人八五〇円
學童用長靴　三五〇円より
男女雨靴　六五〇円より
布靴　白　黒　紺各種
丈夫だから賣れる
民族印地下足袋　三三〇圓
小名浜第二小學校前
皆様の店　平マーケット
電話二九七番